

評価軸③-32 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
京都・花灯路		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成14年度～		
支援事業名	京都・花灯路事業 (京都府, 京都市, 京都商工会議所, 京都仏教会, 京都市観光協会, 京都文化交流コンベンションビューローで構成される京都・花灯路推進協議会で実施)		
計画に記載している内容	京都を代表する歴史的文化遺産や町並み等を日本情緒豊かな露地行灯やいけばな作品で繋ぎ, 初冬及び早春の季節感を魅力的に表現する。【頁7-52】		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
<p>京都・嵐山花灯路—2019(令和元年12月13日(金)～12月22日(日)) 【主な事業】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 ロームが灯す「灯りと花の路」 日本情緒豊かな陰影のある露地行灯の「灯り」とボリューム感のあるいけばな作品の「花」で思わず歩きたくなる路を演出。 2 渡月橋周辺ライトアップ 渡月橋と山裾, 水辺など周辺をライトアップし, 雄大で美しい夜の自然景観を演出。 3 竹林の小径のライトアップ 野宮神社から大河内山荘庭園に至る散策路両側の竹林をライトアップし, 頭上に広がる幻想的な情景を演出。 4 京都いけばな協会「いけばなプロムナード」 京都いけばな協会の協力により, 「灯りと花の路」沿いに大型花器によるボリューム感のあるいけばな作品を展示。 【来場者数】1, 003, 000人 <p>京都・東山花灯路—2020(令和2年3月6日(金)～3月15日(日))→コロナの影響により中止</p> <p>通年型観光及び宿泊型観光を推進するため当該事業を実施し, 一定の来場者を集める効果があった。</p>			
<p>【歴史的風致・基本方針との関係】寺社が多く存在し, <祈りと信仰のまち京都>の歴史的風致を形成している地域で行われる当取組により, 歴史的風致を再認識する機会となり, 歴史的建造物を守り育て, 活かしたまちづくりが推進される。</p>			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	<p>【課題】企画内容が毎年同じようなコンテンツとなっており, 事業がマンネリ化している。 【対応方針】民間事業者との連携による新たな企画の実施し, 更なる魅力アップを図る。</p>		
状況を示す写真や資料等			
		<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: 100px; margin: 0 auto;">中止</div>	
<p>竹林の小径のライトアップ</p>			
京都・嵐山花灯路—2019 (令和元年12月13日(金)～12月22日)		京都・東山花灯路—2020	

評価軸③-33 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
京都市伝統産業「未来の名匠」認定制度		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成22年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	伝統産業業界において中核を担いつつある中堅技術者の意欲向上に資する京都市伝統産業「未来の名匠」認定制度を実施。【頁7～53】		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
□4月8日～6月14日 公募 □8月30日～9月20日 工房調査を実施(申請者13名) □10月4日 過去の認定者による交流会開催 □10月30日 申請者によるプレゼン審査(京都市伝統産業活性化推進審議会審査選考部会) □12月23日 認定式(技術功労者表彰式と合同で開催/市長出席/京都ホテルオークラ) 9業種10名を認定。 (京房紐, 京人形, 京印章, 京焼・清水焼, 京表具, 京料理, 京漬物, 京菓子, 清酒) □3月2日～3月31日 京都にて「未来の名匠」技の披露展 京都駅ビル(3月2日～31日)			
【歴史的風致・基本方針との関係】<ものづくり・商い・もてなしのまち京都>の歴史的風致の重要な構成要素である伝統産業を支える技術者を育成・表彰し、技術や関係業界の振興・発展・継承に努めることは、歴史的風致の維持向上に大きく寄与し、伝統産業を活かしたまちづくりが推進される。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
			
工房調査		プレゼン審査	
			
認定式		技の披露展 (京都駅ビル)	

評価軸③-34

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
京もの国内市場開拓事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成24年～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 京都のまちの魅力や伝統文化を紹介するとともに、和装・工芸が一体となった京都の伝統産業PR展示会を行い、新たな需要を開拓する。【頁7-54】

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、「京都知恵産業フェア2020」は中止。

(参考)「京都知恵産業フェア2020」

1 日程等

日 時: 令和2年3月11日(水)～12日(木) 2日間

会 場: 京都市勤業館みやこめっせ(京都市左京区岡崎成勝寺町9番地の1)

2 内 容: パイヤー向けの展示商談会

【歴史的風致・基本方針との関係】<ものづくり・商い・もてなしのまち京都>の歴史的風致の重要な構成要素である伝統産業を、広くPRする取組により、これらの歴史的風致の維持向上に大きく寄与し、伝統産業を活かしたまちづくりが推進される。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)

評価軸③-35 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和元年度												
項目		現在の状況													
伝統芸能文化創生プロジェクト		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手													
事業期間	平成30年～														
支援事業名	市単独事業														
計画に記載している内容	「五感で感じる和の文化事業」の成果を引き継ぎ、伝統芸能文化に関する保存・継承・普及等の総合的な観点から、伝統芸能文化を取り巻く課題の改善や継承へ向けた提案に取り組む。【頁7～57】														
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で															
<p><令和元年度の実施内容と実績></p> <p>①伝統芸能文化に係る総合相談窓口の設置 ⇒相談件数:190件(令和2年2月17日まで)</p> <p>②ネットワーク構築・リサーチ ⇒新規23件構築(令和2年2月7日まで)</p> <p>③伝統芸能文化復元・活性化 共同プログラム ⇒応募:11件, うち採択:3件</p> <p>④伝統芸能文化創生ネットワーク会議の開催 ⇒令和2年2月8日開催</p> <p>⑤シンポジウム&公演「鬼と芸能」の開催 ⇒令和2年2月8日開催</p> <p>⑥各種講座・受託事業の実施 ⇒イベント4件の開催, 文化庁「伝統芸能用具・原材料に関する調査事業」受託実施</p>															
【歴史的風致・基本方針との関係】市民が生活の中で伝統文化・伝統芸能を身近に感じ、体験することができる機会を創出し、今まで伝統文化・伝統芸能に親しんでいなかった層がこれらの伝統芸術に関わるきっかけとなり、伝統文化・伝統芸能の維持・発展につながり、文化芸術を活かしたまちづくりが推進される。															
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)														
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない															
状況を示す写真や資料等															
<h3 style="background-color: #0056b3; color: white; padding: 5px;">伝統芸能文化復元・活性化 共同プログラム</h3> <p>令和元年度募集 ◆応募総数：11件 ◆採択案件数：3件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>件名</th> <th>申請者等名</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新素材による鉦すりの試作と生産業者の探索</td> <td>祇園祭囃子方連絡会(京都市) 代表：木村幾次郎</td> <td>祇園祭のお囃子に用いる鉦すりの柄は鯨の髭から作られてきた。近年では鯨の髭が入手困難であるため樹脂製のものも多いが、耐久性等に課題がある。今回は、既存の樹脂製品よりも、しなりの良い新素材による鉦すりの柄を開発する。</td> </tr> <tr> <td>新内節の発信と保存プロジェクト</td> <td>新内節の発信と保存プロジェクト(京都市) 代表：新内志賀</td> <td>現在、新内節には、東京を拠点に10以上の流派が存在している。まず、稀曲を含めた楽曲の探訪とデジタルアーカイブ化をすることで伝承と保存を図る。また、新内節の復興に向けて、流派間のネットワークを構築する。これらによって、京都の浄瑠璃から派生した新内節の活性化を目指す。</td> </tr> <tr> <td>十津川盆踊りの伝承・活用発信</td> <td>十津川盆踊り実行委員会(奈良県十津川村) 実行委員長：佐古金一 事務局：土井麻利江</td> <td>国・村の文化財指定有無に関わらず、各大字で異なる特色を持つ十津川盆踊りの現状調査、演目の復元、ネットワークの構築に取り組み、それに応じた伝承・保存方法を提案する。伝統芸能を地域振興にも活かす方法を模索し、プロジェクトの過程と成果を情報発信する。</td> </tr> </tbody> </table>		件名	申請者等名	内容	新素材による鉦すりの試作と生産業者の探索	祇園祭囃子方連絡会(京都市) 代表：木村幾次郎	祇園祭のお囃子に用いる鉦すりの柄は鯨の髭から作られてきた。近年では鯨の髭が入手困難であるため樹脂製のものも多いが、耐久性等に課題がある。今回は、既存の樹脂製品よりも、しなりの良い新素材による鉦すりの柄を開発する。	新内節の発信と保存プロジェクト	新内節の発信と保存プロジェクト(京都市) 代表：新内志賀	現在、新内節には、東京を拠点に10以上の流派が存在している。まず、稀曲を含めた楽曲の探訪とデジタルアーカイブ化をすることで伝承と保存を図る。また、新内節の復興に向けて、流派間のネットワークを構築する。これらによって、京都の浄瑠璃から派生した新内節の活性化を目指す。	十津川盆踊りの伝承・活用発信	十津川盆踊り実行委員会(奈良県十津川村) 実行委員長：佐古金一 事務局：土井麻利江	国・村の文化財指定有無に関わらず、各大字で異なる特色を持つ十津川盆踊りの現状調査、演目の復元、ネットワークの構築に取り組み、それに応じた伝承・保存方法を提案する。伝統芸能を地域振興にも活かす方法を模索し、プロジェクトの過程と成果を情報発信する。	<h3 style="background-color: #0056b3; color: white; padding: 5px;">シンポジウム&公演「鬼と芸能」</h3> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>日程：令和2年2月8日(土)13時～17時 場所：京都芸術センター</p> <p><第一部：シンポジウム> 基調講演：小松和彦(国際日本文化研究センター所長) パネリスト：横山太郎(立教大学教授) 川崎瑞穂(神戸大学・日本学術振興会特別研究員) 三宅流(映画監督)</p> <p><第二部：公演> 演目：鬼剣舞(岩手県・北藤根鬼剣舞保存会) 母ヶ浦の面浮立(佐賀県・母ヶ浦面浮立保存会) 狂言「節分」(鬼：茂山千五郎, 女：島田洋海)</p>	
件名	申請者等名	内容													
新素材による鉦すりの試作と生産業者の探索	祇園祭囃子方連絡会(京都市) 代表：木村幾次郎	祇園祭のお囃子に用いる鉦すりの柄は鯨の髭から作られてきた。近年では鯨の髭が入手困難であるため樹脂製のものも多いが、耐久性等に課題がある。今回は、既存の樹脂製品よりも、しなりの良い新素材による鉦すりの柄を開発する。													
新内節の発信と保存プロジェクト	新内節の発信と保存プロジェクト(京都市) 代表：新内志賀	現在、新内節には、東京を拠点に10以上の流派が存在している。まず、稀曲を含めた楽曲の探訪とデジタルアーカイブ化をすることで伝承と保存を図る。また、新内節の復興に向けて、流派間のネットワークを構築する。これらによって、京都の浄瑠璃から派生した新内節の活性化を目指す。													
十津川盆踊りの伝承・活用発信	十津川盆踊り実行委員会(奈良県十津川村) 実行委員長：佐古金一 事務局：土井麻利江	国・村の文化財指定有無に関わらず、各大字で異なる特色を持つ十津川盆踊りの現状調査、演目の復元、ネットワークの構築に取り組み、それに応じた伝承・保存方法を提案する。伝統芸能を地域振興にも活かす方法を模索し、プロジェクトの過程と成果を情報発信する。													
<h3 style="background-color: #0056b3; color: white; padding: 5px;">受託事業「伝統芸能用具・原材料に関する調査事業」</h3> <p>期間：2020年2月25日～2020年3月31日 事業内容： 1) 調査委員会の運営 2) 実演家、関係者へのヒアリング 3) 調査方法の提案及びアンケート調査様式の作成 4) 報告書の作成</p>															

評価軸③-36
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
世界歴史都市連盟を通じた国際社会における京都の魅力発信の拡大		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成6年～

支援事業名 任意団体(世界歴史都市連盟)の事業

計画に記載している内容 歴史都市という共通の絆で結ばれた都市が、将来にわたって日常的な交流を促進する。【頁7-61】

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

ロシアのカザン市で世界歴史都市連盟理事会を開催(2019年6月)。第17回世界歴史都市会議開催に向けた調整、歴史都市の取組等を掲載した連盟機関紙の発行、連盟公式ウェブサイトによる情報発信等を実施。

- ・第16回世界歴史都市会議(トルコ共和国・ブルサ市開催。2018年9月開催) 参加都市 38都市(21か国)
- ・2020年3月現在の加盟都市数 119都市(66か国)

【歴史的風致・基本方針との関係】国内外を問わず各歴史都市との交流や情報交換、京都市の歴史遺産の保存の取組の発信を行うことにより、文化の発信・発展につながる結果、歴史的風致の維持及び向上に寄与する。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

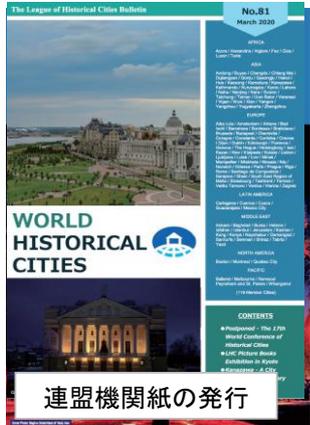
計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

歴史都市連盟への新規加盟の呼びかけ。加盟都市に対しては、連盟事業(歴史都市会議への参加、機関紙への取組掲載等)への更なる参加を促す。

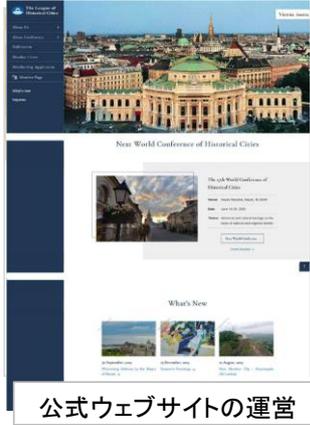
状況を示す写真や資料等



2019年世界歴史都市会議理事会(ロシア・カザン)の様



連盟機関紙の発行



公式ウェブサイトの運営